

患者さまへ

「重症脛骨開放骨折に対する骨軟部再建の治療成績 —四肢外傷再建施設からの報告—」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2013年8月から2023年8月までの期間に湘南鎌倉総合病院に搬送され骨軟部再建を施行された重症脛骨開放骨折の患者さまを対象にしています。
2 研究目的・方法	失われた皮膚や筋肉を補填するための組織移植を要するような重症脛骨開放骨折の治療に関する研究は、整形外科医と形成外科医のコラボレーション治療による場合がほとんどであり、整形外科単独による治療成績の報告は非常に少ないため、貴重な報告であると考えています。整形外科単独で治療を実施することにより骨接合術(骨折の手術)と皮弁形成術(組織移植)を速やかに一貫した治療戦略のもとで完遂することができ、患者さまの早期社会復帰に寄与することを証明するための研究です。 研究の期間:施設院長承認後(2024年3月予定) ~ 2025年12月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、受傷機序、骨折型、骨欠損の大きさ、骨接合術の内容、皮弁形成術の内容や皮弁生着率・骨癒合率・感染率 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 二村 謙太郎 湘南鎌倉総合病院 外傷センター 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2024年2月6日作成(第1.0版)